## あいあいつうしん

No. 5 O 6 2020(令和 2) 6.1 編集 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室

TEL: 075-462-4462

FAX: 075-462-4464

aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

春から夏へ、季節の移り変わりとともに少しずつ日常が戻ってきましたね。 あいあい教室のテラスでは、子どもたちが植えたトマトやピーマンの苗が青々 とした葉をつけています。子どもたちは、色鮮やかなサルビアや日々草の花に も興味しんしん。「へんな名前」「いいにおい」と花にそっと触れたり、におい をかいだり、思い思いに野菜や花に触れるその姿に、なんだか気持ちも晴れや かになります。みんなで水やりをして大切に育てていこうね。

これからも子どもたちや保護者のみなさんが安心して過ごせるように努めていきます。それでは、今月のつうしんをお届けします。



みんなおいしそうなスイーツ作って 食べてる。私、姫をやめておいしい 、スイーツどんどん作って食べよう!

## 6月の予定(児童)

23日(火) 歯科検診(京都歯科サービスセンター)



ケックを あいます ちゃんと歯磨きせな いかんでー。歯医者ちゃうけどな。

#### <新型コロナウイルス感染防止対策のため、予定の変更があります>

・毎月、第3水曜日に予定している自由来館お遊び会『ひよこクラブ』(在園 児以外の方が対象)は、6月は中止させていただきます。7月より再開予定で す。手続きは不要ですが、ご参加の方は事前にご連絡ください。

#### ★ホームページ版「あいあいつうしん」がご覧になれます★

京都ライトハウスのホームページ内、あいあい教室のページから「あいあいつうしんWeb版」のコンテンツにアクセスしてください。写真がカラーで掲載されています。Web版もぜひご覧ください!

### 『視覚障がい疑似体験会』について(児童・放ディ共通)

6月に予定していた『視覚障がい疑似体験会』は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、延期させていただきます。現時点では、状況を見ながら秋頃に行う予定をしています。日程等については、後日お知らせします。



### 児童 ともだち紹介



## D さんの巻

Dです。山の中で田舎暮らしをしています。

Dは自宅出産で産まれました。生後1ヵ月の時、夜中に嘔吐を繰り返し、病院に救急搬送。くも膜下出血と診断。緊急手術で一命を取りとめました。

筋緊張が強く、音に敏感で、てんかんの発作があります。股関節脱臼で装具をつけています。

食べること、お風呂、抱っこが大好きです。あいあい教室では光遊び、タオルブランコなどの揺れる遊びが好きで、嬉しい顔をしてくれます。

自分の子が脳性麻痺、障がいを持つと知ったときは本当に辛くて、自分を責めました。これからどうなるんだろうと不安な中あいあい教室に通いだし、1人1人症状も発達段階も原因も違う子たち、それを心から支えるお母さん達、優しい先生方に出会い、障がいを持っている子も、健常な子も必要な助けが違うだけで、よりたくさんの人と関わって、助けてもらって、愛をもらって、いろんな障がいを思って強く生きることを選んで生まれてきたんだなと思えるようになりました。

これからもあいあい教室に通う事で、Dの生きる喜びが増えればいいなと思います。どうぞよろしくおねがいいたします。

## ~あいあい教室 おもちゃ紹介~

6月号では、『さわる絵本』を紹介します。あいあい教室には、手で触って楽しむことができる『さわる絵本』があります。印刷された絵ではなく、布や毛糸、ボタンなど様々な素材を使用し、半立体になっています。また、点字や点図(突起した点を並べて描いた絵や図)でできたユニバーサルデザイン絵本もあります。絵が触れるようになっていることで、見えない・見えにくい子どもたちも友だちと一緒に絵本を楽しむことができます。

歌に合わせてトントンとタッチしたり、「ザラザラ」「ツルツル」などの手触りを言葉で伝えたり、触ることに抵抗がある子どもは好きな素材から始めてみましょう。『さわる絵本』を通して、手で物に触ることに慣れるのはもちろん、近くで見たり触ったりすることが難しい虹や雲などの天体、山や川などの自然、動物の色々な姿などを知る機会になります。「これはなんだろう」と自分の手で触ってみようとすること、「もっと見てみたい」「知りたい」という気持ちを大切に、絵本の時間をこれからも楽しんでいきたいと思います。



『がたんごとん がたんごとん』の さわる絵本



コントラストのよい ユニバーサルデザイン絵本



『いないいないばあ』の布絵本



サラっとした質感の布でできたオバケ

#### ★京都ライトハウスFacebook★

https://www.facebook.com/kyoto.lighthouseには、ライトハウスのイベント等のお知らせや各事業所の活動の様子を写真や動画で掲載されています。ぜひご覧くださいね。

\***今月の一言①**\* 豆腐白玉にどハマり。粒状の白玉粉がモチモチになる触感とお湯に入れた白玉がプカっと浮く瞬間がどうにもたまらない。無心になることも大切。 谷口



# あいあい放課後等デイ・かわら版

季節は初夏へ向かい、長かった休校期間がようやく終わりを迎えようとしています。子どもたちが学校に通うのを楽しみにしている一方で、生活リズムの調整や授業のスピードなど、保護者の皆さんには不安な想いもあるかと思います。新年度の始まり方が例年と違ったとしても、子どもたちの過ごしが変わらず豊かなものとなるよう、共に歩みを進めていきたいと強く願っています。

#### 活動風景

### **●● <u>居室の桜が満開になりました!</u> ●●**

4月号でお伝えした"桜の花を咲かせよう・プロジェクト"。居室の壁に段ボールで大きな木を作り、そこに花を一つずつ作って貼りながら、子どもたちと取りくんできました。花びらになるパーツの色や素材、組み合わせを悩みながら選ぶ子ども。完成した花を「どこに貼ろうかなぁ」と考え、ジャンプして高い所に貼る子ども。そんなふうに、それぞれ楽しみながら挑戦してきました。そして花が増えてきた頃、「小さな花がたくさんあったらかわいいと思う!」と素敵なアイデアが。まだ花のない所や枝の間に小さな桜をたくさん咲かせていき…4月末、心待ちにしていた満開の時が訪れました。

休校期間に"こんな時だからこそ笑顔を届けたい"と、子どもたちと取りくんできたこのプロジェクト。それが一つのかたちになり、嬉しい気持ちで心も満ちる瞬間でした。そして、この間あいあいを休んでいた子どもたちや保護者

の皆さんにも、この想いが届いてくれ たらいいな…と願っています。

「枝に鳥がいたらいいね」「葉っぱの 模様を描くのはどう?」と、子どもたち は次のアイデアがどんどんあふれてい る様子。みんなで考えながら四季折々 の"あいあいの木"を作り、思い出を重 ねていきたいと考えています。



居室の壁を鮮やかに彩る 満開の桜

\*今月の一言②\* 子どもを育むということは、速さではなく遠さ。今日教えてできることではなく、いかにその子の遠くへ語りかけるか。大切な言葉を、反芻する日々。 椹木

編集人 古川 千鶴 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 社会福祉法人 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室 <u>Tel:075-462-4462</u>